

30108砂防工事における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	7 ～ 8	会社所有車を他の従業員の運転で現場に向かっていたところ、路面凍結によりスリップし、橋の欄干に衝突した。その際、後部座席に乗車して、腰を強く打ち骨折した。	60	17	221	1 ～ 9
2	2019	1	13 ～ 14	敷地内にて、機材の運搬作業中、通路足場の屋根上で機材を受け取るうと考え、通路足場へ移動中、内部足場と外部通路足場の間に落下し、左肘と胸脇を強打し負傷した。	55	1	411	30 ～ 49
3	2019	1	9 ～ 10	資材を片付ける際、護岸工天端コンクリート上で、作業靴に泥が付着していたため滑り、バランスを崩して1.6m下へ転落し、両足踵を骨折した。	67	1	418	1 ～ 9
4	2019	2	7 ～ 8	指定駐車場にて、資材受け入れ中、車を止めて徒歩で坂道を下り、一部凍結により滑り転倒した。頭頂部を強打し負傷した。ヘルメットは着用していた。	67	2	417	1 ～ 9
5	2019	2	11 ～ 12	町道にて、敷鉄板（1500×6000）をトラックにて吊り上げ作業中、ユニックの巻き上げ機故障により、敷鉄板がずり落ち、頭部を打ち、その後死亡した。	25	6	212	10 ～ 29
6	2019	2	16 ～ 17	現場構内にて、水路工の集水柵を切断加工中、ハンドカッターが跳ね返り、ハンドカッターの保護カバーが顔に当たり、下唇と顎の挫創を負った。	46	6	169	1 ～ 9
7	2019	3	10 ～	工事現場にて法菌張芝作業の準備作業を行うため、法面を登ろうとしたとき、四つん這いで約3m滑り落ちた。その後体勢を回転させ、約	72	1	711	—

			11	2メートルの場所から背中向きに石の敷いた上に転落し、脳挫傷を負い、腰および背中側の肋骨を折った。				
8	2019	6	10 ～ 11	集水ボーリングの途中に、削孔用ロッドを装着していた。回転可の場合をオペレーターに出し、オペレーターはロッドを回転させたところ、被災者がまだロッドを握っていたため、ロッドの回転に右腕が巻き付き、右手親指の先が切断し、右腕から右肘の間を骨折した。	66	7	149	1 ～ 9
9	2019	7	13 ～ 14	港にて、岸壁撤去工施工箇所地盤転圧作業中、地盤が緩くハンドローラーで作業し、方向転換のため後退した際、ハンドローラーの持ち手と上部工の間に指を挟み、右手中指を負傷した。	63	6	141	10 ～ 29
10	2019	8	11 ～ 12	砂防堰堤改築工事現場にて、下草刈り・伐採作業をしていたとき、チェーンソーがアイドリング状態で移動中、足下が滑り、体勢を崩した弾みでアクセルをふかしてしまい、刃が左大腿に当たり、切傷を負った。	53	8	136	1 ～ 9
11	2019	9	13 ～ 14	残土処分場で古くなったプレハブ現場事務所を解体中、裏側を歩いていたところ、突然壁が倒れ下敷きになり、右肩を骨折した。	77	5	419	30 ～ 49
12	2019	9	14 ～ 15	工事現場内にて、工事施工前の伐木玉切り作業中、伐木し倒れ上下に重なり合った木の枝払い作業中、下の倒れた木が動き、退避する際、足場が悪く、正面より転倒し、固い物に股関節付近を強打、左右股関節を骨折した。	74	2	711	1 ～ 9
13	2019	10	14 ～ 15	災害復旧工事現場にて、重さ370kgのコンクリート製品を重機で吊り上げ、製品を前後左右に動かして据え付けをしていた際、一旦降ろして前後に少し移動させるため誘導していたところ、金具と鎖の間に左手中指を挟んだままだったため、重機で吊り上げたときに骨折した。	73	7	212	1 ～ 9
14	2019	10	9 ～ 10	敷地内にて、クローラードンプの可動部にグリスアップするため、キャタピラの上（高さ約60cm）に乗り、しゃがんだ状態で作業中、工具が落下しそうになり工具を戻す際、バランスを崩し落下した。その際、足をつき、左足首をひねり捻挫した。	34	1	142	30 ～ 49

15	2019	10	14 ～ 15	被災者は山の斜面にて、削孔機械を固定していたワイヤロープを外した。その後、どちらかへ移動しようとしたときに転落し30m下に設置してある仮設ネットで止まった。その後、頸椎損傷、低酸素脳症で死亡した。	64	1	711	10 ～ 29
16	2019	10	8 ～ 9	事務所横の駐車場から、構内の道路へ飛び上がろうとしたところ、道路擁壁の角に着地してしまい、アキレス腱を伸ばすような形になり、左踵を骨折した。	47	2	417	1 ～ 9
17	2019	11	9 ～ 10	鉄製グレーチングをホイストで吊り上げて、トラックに積もうとした際に、グレーチングが荷崩れして落下し、左足親指に当たり、左母趾末節骨亀裂骨折となった。	65	4	521	1 ～ 9
18	2019	11	14 ～ 15	法面で型枠作業中に、足下が滑り転倒し、既設法枠で脇腹を打撲し、背部肋骨骨折および右肺外傷性気胸と診断された。	64	2	414	10 ～ 29
19	2019	11	16 ～ 17	雨天災害で崩土した切土法面にて、仮設モルタル吹付工のモルタル部分を刺撃し撤去を行っていた。撤去したモルタルが下部で重なり合い、モルタルのラスを固定するアンカービンが地面から上部に向かっていたのに気付かず、作業法面から降下した際、左足裏にアンカービンが刺さり負傷した。	42	3	418	1 ～ 9
20	2019	11	9 ～ 10	仮置き場にて大型土のうを作るため、土のう製造機に袋を設置し袋を上げるとき、右回りしているとき右足に袋の紐が引っ掛かり、バランスを崩した。その際、左足が石の上に乗る足首をひねり転倒し、左足首を骨折した。	65	2	391	10 ～ 29
21	2019	12	11 ～ 12	工事現場にて運転手がバックホーで転圧機を吊り上げダンプに乗せようとしたところ、バックホーのバランスが崩れガードレールに倒れた。その際、バックホーのアームとガードレールに右肩を挟まれ負傷した。	60	7	142	1 ～ 9
			15	路線測量作業中に足を滑らせて転倒し、切り株（直径3cm、高さ				10

22	2019	12	～ 16	25cm) に脇腹から背中を強打して、肋骨を折り肺に穴があいた。	66	2	711	～ 29
23	2019	12	～ 13	工事現場で測量作業を行おうとしていたときに、1.5mの高さまではしごを登ったところ、はしごが固定されておらず、雨で濡れていたためバランスを崩し後方に転倒した。その際、腰椎を骨折した。	40	1	371	10 ～ 29
24	2019	12	～ 10	砂防ダム建設現場にて、コンクリート表面の清掃作業中、はしごを水平に設置し、足場として使用し、はしごが滑りやすく、足が滑り転倒し、はしごの踏み板に左手小指を挟み、骨折した。	66	2	371	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで\(2019年\)](#)に戻る。